

地域をテーマにした表現力の育成～あなたは将来、珠洲に住みたい？～

英語 第2学年
珠洲市立三崎中学校

1 事例の概要

本校では活用力（思考力・判断力・表現力）の育成を目指して、「わかる授業」を研究の柱として「課題をつかむ場」、「活用する場」、「まとめ、振り返る場」の3つの場面を設定し授業実践している。

英語科では基礎・基本の定着とそれらを活用して自分の思いや考えを表現する力の育成を目指している。そのため、4技能をバランスよく取り入れた言語活動を行いながら基礎・基本の定着を図ること、また、表現力育成を目指した言語活動（活用の場）を設定することを心がけている。本校の2年生は、表現する言語材料の理解が不十分であったり、伝えたい内容を適切に表現したりすることができない生徒が多い。そのため、基礎・基本の定着を目指した指導を更に充実させること、表現することへの意欲を持たせるためにテーマ設定を工夫すること、自分の意見や考えをしっかりと持たせるための工夫などが必要である。

A-1 学校研究

2 実践内容

(1) 単元の目標

- ① 間違ふことを恐れず、自分の気持ちや考えなどを表現する活動に積極的に取り組もうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 伝えたいことを正しく伝えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。(表現の能力)
- ③ まとまった英文を読んだり、聞いたりして概要をつかむことができる。(理解の能力)
- ④ 「if節」「that節」「when節」「because節」を含む文の形・意味・用法を理解している。
(言語や文化についての知識・理解)

(2) 指導上の工夫点(視点)

- ① あるテーマについて自分の意見をまとめ、友達と意見交換する活動を通して、習ったことを活用させる。
- ② 表現することへの意欲を持たせるため、テーマを生徒からのアンケートをもとに設定した。
- ③ 文章構成の仕方を提示した。

B-1 単元計画

3 指導の実際

(1) 本時のねらい

- ・将来、珠洲に住みたいか住みたくないか、またその理由についての発表を聞いて、意見や感想を言うことができる。(表現の能力)

(2) 本時の活用する場について

- ・if/that/when/because節の従属接続詞や「不定詞」を用いて将来、珠洲に住みたいか住みたくないか、またその理由についての発表を聞いて、「I think so, too, because～.」「I don't think so, because～.」などの表現を用いて意見や感想を言う活動を活用の場とする。

過程 (配時)	学 習 内 容	留意点 (・) と評価 (◎) と支援 (○)																
	4 本時の課題を把握する。	・本時の課題を提示する。																
	「将来、珠洲に住みたいか住みたくないか」また、その理由についての発表を聞いて意見や感想を言おう！																	
展開 (35分)																		
10分	5 ペアでの発表練習 同じ意見を持つグループに分かれ、ペアで発表練習を行う。 A(4人)・・・珠洲が好き／珠洲に住みたい B(4人)・・・珠洲が好き／珠洲に住みたい C(5人)・・・珠洲が好き／珠洲に住みたくない D(4人)・・・珠洲が嫌い／珠洲に住みたくない	・発表練習では、3つのポイントを意識しながら練習するよう促す。																
13分	6 ペア同士で発表練習 (4ヶ所で□が発表する) 1回目 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A1</td><td style="padding: 2px;">-C1</td> <td style="padding: 2px;">B1</td><td style="padding: 2px;">-D1</td> <td style="padding: 2px;">A2</td><td style="padding: 2px;">-C2</td> <td style="padding: 2px;">B2</td><td style="padding: 2px;">-D2</td> </tr> </table> 2回目 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">B1</td><td style="padding: 2px;">-C1</td> <td style="padding: 2px;">A1</td><td style="padding: 2px;">-D1</td> <td style="padding: 2px;">B2</td><td style="padding: 2px;">-C2</td> <td style="padding: 2px;">A2</td><td style="padding: 2px;">-D2</td> </tr> </table>	A1	-C1	B1	-D1	A2	-C2	B2	-D2	B1	-C1	A1	-D1	B2	-C2	A2	-D2	・聞き手には、発表を聞いて自分の意見や感想を必ず言うようにする。
A1	-C1	B1	-D1	A2	-C2	B2	-D2											
B1	-C1	A1	-D1	B2	-C2	A2	-D2											
12分	7 数グループが発表し、発表を聞いて、意見や感想を言う。	◎将来、珠洲に住みたいか住みたくないか、またその理由についての発表を聞いて、意見や感想を言うことができる。(表現の能力)〔観察〕 ○自分の意見や感想をうまく言えない生徒には、「I think so, too, because～」 「I don't think so, because～」などの表現を提示し、それらを使って表現するよう促す。																

C-1 指導案(本時)

C-2 ワークシート

4 成果と課題

(1) 成果

「将来、珠洲に住みたいか住みたくないか」またその理由について発表する活動では、ペアによる従属接続詞 (if/that/when/because) の口頭練習を毎回の授業のウォームアップに取り入れたこと、文章構成の仕方を提示したこと、発表の注意点を明確にして十分な練習時間を確保したことなどから、発表原稿を見ないでしっかりと表現することができた。

また、表現するテーマを生徒のアンケートをもとに決定したことにより、表現することへの意欲を持たせることができた。

(2) 課題

自分の意見を、原稿を見ないで発表することはできたが、聞き手を意識した発表の工夫 (アイコンタクト・ジェスチャー・繰り返しなど) がまだ不十分である。また、基本表現の定着が不十分であり、相手の話すことを聞いて自分の意見を持つという習慣が身につけていないため、質問に対して即座に答えることができない生徒が多い。生徒が意欲的に表現できる場面設定を仕組み、コミュニケーションへの関心を高めること、自分の考えや意見を表現するための基本表現を普段から意識させることなどが必要である。

